

[illegible]

2 学 期	【水泳】 水泳	・クロール					(知) 水泳の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に泳ぐためのポイントがあることについて、言ったり、書き出したりしている。 (技) 水面上の腕は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすことができる。 (技) ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。	○			6
	【球技（ゴール型）】 サッカー	・基本的技能の習得									
	【水泳】 水泳	・クロール					(知) 泳法と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることについて、言ったり、書き出したりしている。 (技) クロールでは、水中で両足あるいは左右どちらかの足をプールの壁につけた姿勢から、スタートの合図と同時に顔を水中に沈め、抵抗の少ない流線型の姿勢をとって力強く壁を蹴り、各泳法に適した水中における一連の動きから、泳ぎだすことができる。 (技) 味方が操作しやすいパスを送ることができる。	○			8
	【球技（ゴール型）】 サッカー	・基本的技能の習得									
	【水泳】 水泳	・クロール、背泳ぎ					(技) クロールと背泳ぎでは、プールの壁から5 m程度離れた場所からタイミングを計りながら、泳ぎの速度を落とさずに、片手でプールの壁にタッチし、膝を抱えるようにして体を反転させ蹴りだすことができる。 (思) 選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 (思) 自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。	○	○		8
3 学 期	【球技（ゴール型）】 サッカー	・基本的技能の習得					(思) 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えようとしている。 (主) 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 (主) 水泳の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。 (思) ・球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けようとしている。 (主) 互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとし		○	○	6
	【陸上競技】 長距離走	・持久走					(技) 呼吸を楽しむしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走ることができる。 (技) 自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。 (思) 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えようとしている。 (主) 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	8
	【体育理論】 スポーツの発祥と発展	1 スポーツの始まりと変遷 2 文化としてのスポーツ 3 オリンピックと パラリンピックの意義 4 スポーツが経済に及ぼす効果 5 スポーツの高潔さとドーピング 6 スポーツと環境					(思) スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見しようとしている。 (思) スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えようとしている。 (主) スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。		○	○	6
								合計	70		